

1. 調査報告概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成20年1月9日

【評価実施概要】

事業所番号	2775002542
法人名	社会福祉法人 由寿会
事業所名	グループホーム香寿庵
所在地	東大阪市稲田新町1-10-1 (電話) 06-6748-8008
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 19年 12月 21日

【情報提供票より】(平成 19年 11月 26日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 4月 1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	11人	常勤 2人, 非常勤 9人, 常勤換算	8人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2階建ての	2階 ~	2階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000円	その他の経費(月額)	34,100円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	160円	昼食 310円
	夕食	320円	おやつ 100円
	または1日当たり 890円		

(4) 利用者の概要 (平成 19年 11月 26日現在)

利用者人数	9名	男性 0名	女性 9名
要介護1	1名	要介護2	1名
要介護3	5名	要介護4	2名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 84歳	最低 64歳	最高 94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	アーバンケア稲田診療所、森田歯科医院、(医) 枚岡病院、(社福) 天心会小阪病院
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

社会福祉法人が運営するグループホームで、特養とデイサービスセンター、診療所が併設されています。「香寿庵」は、入居者にとっての「家」であり、各々が「生活し、暮らす主人公」であるとの基本認識のもと、入居者一人ひとりが「香寿庵」において、その人らしい、あたりまえの生活が送れるよう、六つの運営目標を掲げ、利用者が家族、職員、地域住民と共に安心してその人らしい生活を続けられるよう支えています。職員は利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向に沿うよう支援し、やさしい雰囲気です。併設の診療所の医師と看護師による必要な医療と看護を提供し、利用者と家族に安心感を与えています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 前回の外部評価で示された事項について改善が進み、法人全館の館内放送は緊急時以外自粛されホームの中は静かになり、センター方式の情報シートへの聞き取りや気付きの結果等、介護記録の整備が進んでいます。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、管理者と計画作成担当者が相談して完成させていますが、今後予定されている全体会議で職員と話し合い、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は地域包括支援センター職員、民生委員、老人クラブ会長、家族、利用者の参加のもとで、6ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの運営方針や目標、その状況について、また利用者の一日の生活ぶり等について報告していますが、運営推進会議は年6回開催することが求められます。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝えています。利用者の医療や安全に関わる事項については、必要の都度電話で家族に報告しています。毎月発行の「ピーちゃん便り」で利用者の生活ぶりや行事内容を写真とともに家族に送付しています。家族とは面会時だけでなく、定期的に開催されるサービス担当者会議に参加してもらい、家族が思いや希望、不満を表せるように対応しています。また意見箱も設置し、家族の意見が表せる機会を設けています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 隣接する公園での地域の盆踊りや法人主催の秋祭り等各種の行事、また、地域のボランティアによる併設施設での歌、踊り、楽器演奏等を通じて地域との交流は深くなっています。利用者は近隣の商店街やスーパーでの買い物、外食等でも地域との付き合いがある他、近隣の保育園園児、学校の児童、学生が見学や学習にも訪れています。

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	『“「香寿庵」は、入居者にとっての「家」であり、各々が「生活し、暮らす主人公」である”との基本認識のもと、入居者一人ひとりが「香寿庵」において、その人らしい、あたりまえの生活が送れるよう、次のような暮らしの実現を目指します。(1)健やかで、安らぎのある暮らし (2)ゆったりと時が過ぎせる自由な暮らし (3)自分らしさや誇りが保たれる暮らし (4)生活のはりあいや喜びがある暮らし (5)仲間と一緒に過ごす楽しさのある暮らし (6)地域に開かれた地域とともにある暮らし』を目標として掲げ、利用者が家族、職員、地域住民と共に安心してその人らしい生活を続けられるよう支えています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を明文化し、ホーム内に掲示されています。毎月のケアワーカー会議や毎日の業務を通じて、管理者と職員は理念を共有し、介護サービスに反映させるよう話し合っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	隣接する公園で行われる地域の盆踊りや法人主催の秋祭り等の各種行事、また地域のボランティアによる併設施設での歌や踊り、楽器演奏等を通じて地域との交流を深めています。利用者は近隣の商店街やスーパーでの買い物、外食でも付き合いがある他、近隣の保育園園児、学校の児童、学生も見学や学習に訪れています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価で示された事項について改善が進み、法人全館での館内放送は緊急時以外自粛されホーム内は静かになり、センター方式の情報シートへの聞き取りや気付きの結果の情報の記録が進んでいます。自己評価は、管理者と計画作成担当者が相談して完成させていますが、次回の全体会議で職員と話し合い、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は地域包括支援センター職員、民生委員、老人クラブ会長、家族、利用者の参加のもとで、6ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの運営方針や目標、その状況について、また利用者の一日の生活ぶり等について報告しています。	○	運営推進会議の開催頻度は年6回とすることが求められます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は東大阪市の担当職員と法人の担当者を通じて相談をしたり、市が開催するグループホーム連絡会や講習会に参加し意見交換をしたりしながら、サービスの質の向上に取り組んでいます。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝えています。利用者の医療や安全に関わる事項については、必要の都度電話で家族に報告しています。毎月発行の「ピーちゃん便り」で利用者の生活ぶりや行事内容を写真とともに家族に送付しています。		
8	15	○ 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは面会時だけでなく定期的に開催されるサービス担当者会議に参加してもらい、家族が思いや希望、不満を表せるように対応しています。また意見箱も設置し、家族の意見が表せる機会を設けています。		
9	18	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	多くの派遣社員の退職に伴い、短期間で新人職員の採用等が多くなりましたが、その間ベテラン職員の頑張りでの利用者への影響を最小限に抑えることができています。	○	新人職員の採用にあたり、計画的な採用時研修の実施とその記録を残すことが求められます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	大阪認知症高齢者グループホーム協議会の認知症研修を受けるとともに、感染症や食中毒、緊急対応等について法人内研修を実施しています。今後は、中堅や新人職員についてもステップアップのため、計画的に外部研修や内部研修を受けられるようにし、積極的に職員を育てる取り組みが望まれます。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大阪認知症高齢者グループホーム協議会に加入し、研修会や会議に参加するとともに、グループホーム間の相互研修の企画にも参加して交流しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には職員が施設や家庭を訪問し、利用者や家族にはホームに来訪してもらい生活体験や行事参加をしてもらうことにより、馴染みの関係作りを行い、家族や本人の不安を取り除き、安心して入居し、サービスを受けられるように取り組んでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に過ごし、学び支えあう関係を目指した支援を行っています。利用者とは家事を通して学び支えあう関係を作っています。編み物の得意な利用者が自身の「膝掛け」だけでなく他の利用者の分も来年にかけて編むという計画が進んでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式の「私の求めるかわりシート」を利用し、職員による記入が進み、利用者の思いや意向の把握が充実してきています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式によるアセスメント情報や利用者の現在の暮らし、心身の状況を把握するとともに、家族を交えてケアマネジャー、ケア担当者がサービス担当者会議を実施し、利用者や家族の意向・願いを反映した介護計画を作成しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的には6ヶ月毎に、また状態の変化がある時はその都度見直しを行っています。家族を交えたケアカンファレンスの結果や「サービス実施表」を使っての日々のモニタリング、月例のケアワーカー会議でのモニタリングの結果を受け、ケアプランの見直しを行っています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設の診療所との連携で利用者の状態に必要な医療と看護を行っています。必要により通院介助も行っています。地域のボランティアによる併設施設での歌、踊り、楽器演奏等を利用者に提供しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科に関しては、併設診療所の医師から医療を受けていますが、他の診療科目については利用者が以前からのかかりつけ医(医療機関)で引き続き医療を受けています。協力病院と連携し、夜間や急変時の対応についての体制も整備されています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	法人としては利用者が重度化した場合は特養で対応するという方針があり、ホームで看取りを実施する予定はないことを入居時に家族に伝えていきます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、職員の言葉かけや態度は明るく丁寧で、やさしい雰囲気です。職員は採用時に個人情報の取り扱いについて法人と書面を取り交わしています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、利用者のペースでゆったりと暮らせるよう支えています。職員が利用者を制止したり、急かしたりする言葉はなく柔軟な対応をしています。朝、体調が悪い時の朝食は居室で対応するなど、利用者一人ひとりのペースが保てるよう支援しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食、特養の献立を参考に利用者好みに変更して職員が調理しています。買い物や食事準備、盛り付け、後片付け等に利用者も得意な分野で参加し楽しんでいます。職員は同じものを食べながら、利用者の食べ方の混乱や食べこぼしに対するサポートをさりげなく行い、会話をしながら楽しくなごやかな雰囲気を作っています。利用者の誕生日には希望を聞いて調理したり、お寿司を出前したりしています。またその他に外食会を楽しむこともあります。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者は通常週に2回は入浴剤を楽しみながら、ゆっくり寛いだ入浴ができています。希望すれば毎日でも入浴することができます。併設のデイサービスの浴場での入浴を楽しむこともあります。	○	利用者が週に3回はゆっくりと寛いで入浴できるよう、体制整備と雰囲気作りが求められます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は一日の生活の中で家事にそれぞれの役割を見つけ、分担し合いながら張り合いのある生活を送っています。編み物の得意な利用者が他の利用者全員の「膝掛け」を編む計画が進んでいたり、裁縫の得意な利用者がホームのために座布団カバーを縫ったり、折り紙やカラオケを楽しんだり、地域のボランティアによる併設施設での歌、踊り、楽器演奏等の楽しみを支援しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	商店街やスーパーでの毎日の買い物や周辺の散歩、季節の花見や行事、外食会にも出かけています。家族ともお墓参りや美容院に出かけています。ただ現状では外出の機会がやや少なく、利用者個人毎に行きたいところを聞きだし、外出の支援を増やすことが望まれます。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関に通じるフロアドア、併設特養に通じる渡り廊下のドアとも、日中の時間帯は鍵が開錠されています。ドアにはチャイムを取り付けて注意を払い、見守りだけで対応ができるようになっていました。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策として年2回の「火災時の対応方法と避難の方法」についての消防の指導があります。非常・災害時のための食料品と水の備蓄については、現在冷蔵庫や収納庫に在庫があり、最低限の量は確保されています。今後はホームで「非常用備蓄マニュアル」等の取り決めを作成し、備蓄をすることが望まれます。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事摂取量と水分摂取量を把握し記録をとっています。栄養バランスについては、特養の管理栄養士よりアドバイスを受けています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関一階の外まわりにも、内の階段踊り場、渡り廊下にも植木や花があり訪ねやすい雰囲気になっています。窓が大きく、採光が明るいリビング兼ダイニングルームは家具調度品や道具類、手作り作品、観葉植物を配置し、ホーム内ではセキセイインコの「ピーちゃん」を飼い、家庭的で落ち着きを感じさせる共用空間になっています。また、今後はより季節感が感じ取れる空間を創っていくことが望まれます。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームが準備している畳表敷きのベッドと洋服ダンスのある居室には、利用者が整理ダンス、収納ケース、椅子、枕元に飾られた装飾品や小物、手作り作品、家族の写真、時計等使い慣れた馴染みの古い物や生活用品を持ち込み、胡蝶蘭やシクラメンの花にも囲まれ、利用者一人ひとりが安心して過ごせる居場所になっています。		